



違い棚と共に生きるシェアハウス

～池のほとりで自然と共存する暮らし～

CONCEPT

京都の静かな住宅街に建つ小規模シェアハウス。違い棚と北山丸太が生み出す奥行きと温もりで、適度な距離感を保ちつつも他人と共に暮らすライフスタイルが実現する。池の近くに位置し、その美しい景観を最大限に活かすようなガラスと丸太のコンビネーションにより景観とも調和したデザイン。



INSPIRATION

室町時代に作られた違い棚をコンセプトとした設計。歴史的なデザインと現代の生活ニーズを融合させたユニークな空間を実現。違い棚とは、異なる高さに棚を配置することで効率的にスペースを活用できるデザイン。2階はプライベートスペースや作業場が配置され、1階や2.5階ではコミュニティエリアを設置。独自の層を設けることで、空間の効率化と共に、居住者が個々のプライベートを確保しつつ共同生活ができる最適な作り。

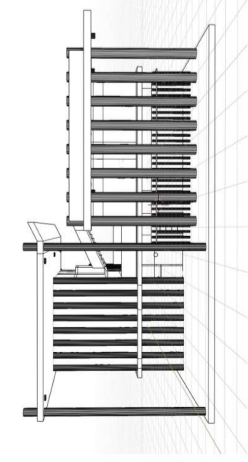
LOCATION

北山丸太で有名な北山市に位置する深泥池付近に建築。水面に映る四季折々の景色を眺められ、人と自然との調和を感じられる。

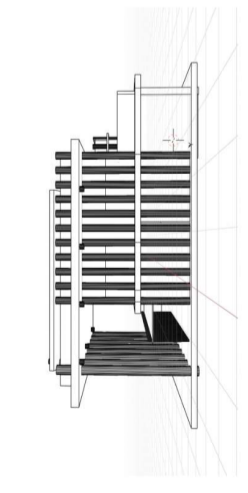


SETTING

リビングの大きなガラス張り窓から全貌で



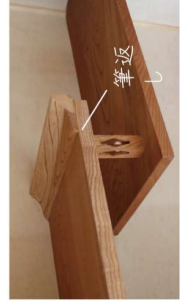
FRONT VIEW



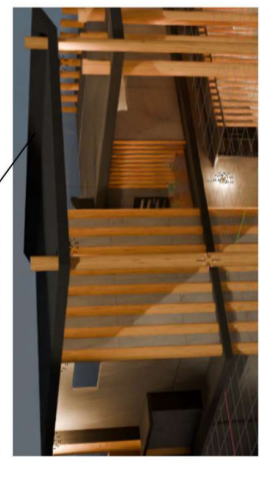
SIDE VIEW

BACKGROUND

違い棚は昔から書院造の座敷飾りの一つであった。そのため棚の端は筆返しといい、筆を置いたときに転がらないようなデザインになっている。

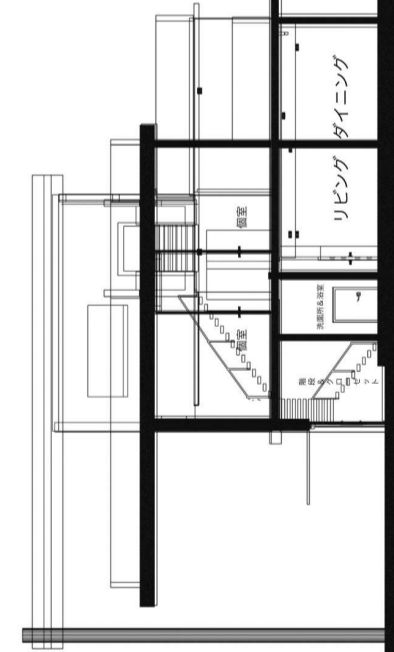
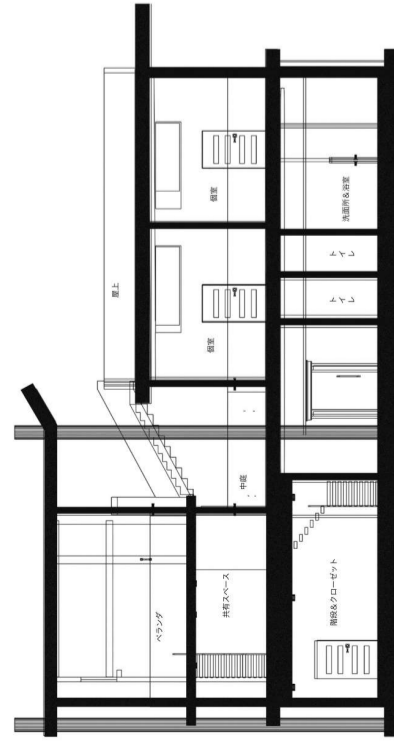


家自体が違い棚をイメージしているため屋根に筆返しのデザインを施してある

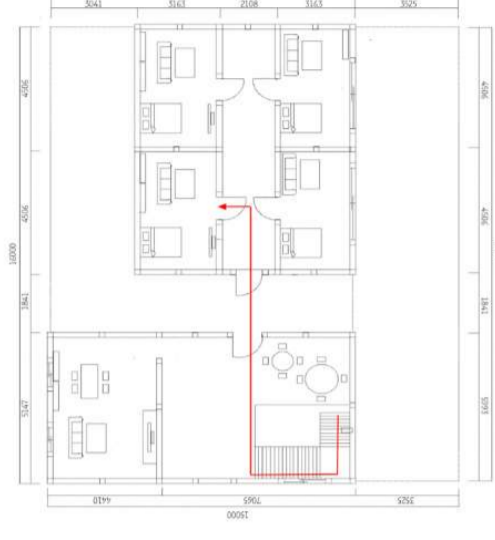
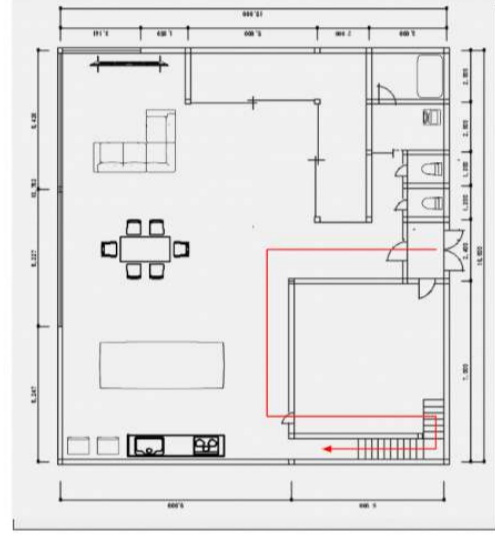


断断面

(右) 裏側 (東) 断断面
(左) 表側 (西) 断断面



各部屋への帰宅動線



このシェアハウスでは、帰宅時に玄関から個室に向かう際に必ず共有スペースを通過する設計が施されている。これにより、住人は自然に他人と顔を合わせる機会が増え、日常的に交流が生まれる。あえて一階にのみトイレや風呂場を用意したのは生活を送る上で共有スペースを通る頻度を高くし、住人同士の接触を自然に促進するためだ。

内装のこだわり

この設計は、滑らかで光沢のある北山丸太の特徴を活かすように考えられている。北山丸太は変色しにくく、亀裂も入りにくい材質であり、そのまま使用することで非常に美しい仕上がりとなる。外観だけでなく、内部にもこの丸太が見えるようにし、高く立ち上げられる北山丸太が、段差のある部屋の設計に持つ自然開放感を生み出す。北山丸太の持つ自然の美しさとその特性が、デザイン全体に調和をもたらしている。

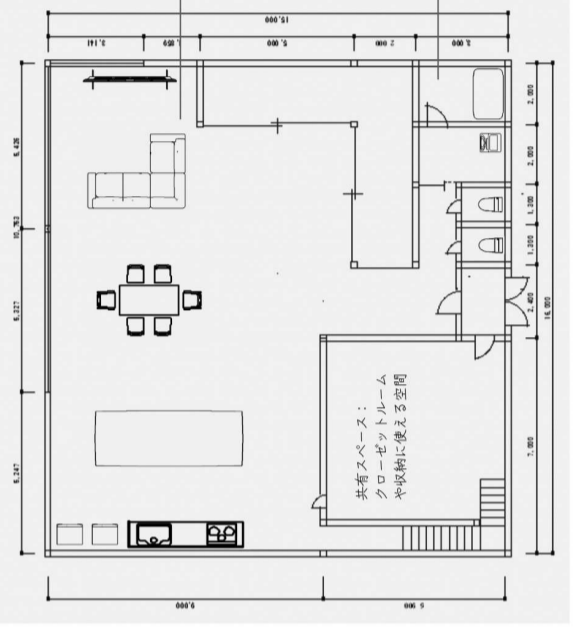


丸太が生み出すナチュラルな雰囲気を邪魔しないガラス板を設置。

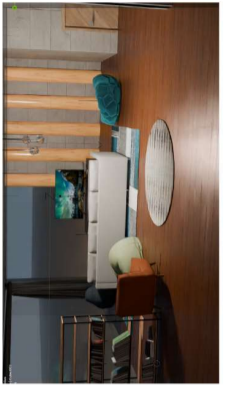
光を映めながらバーベキューをしたり、読書をしたりと自由に過ごせる空間。



屋上エリアの風景



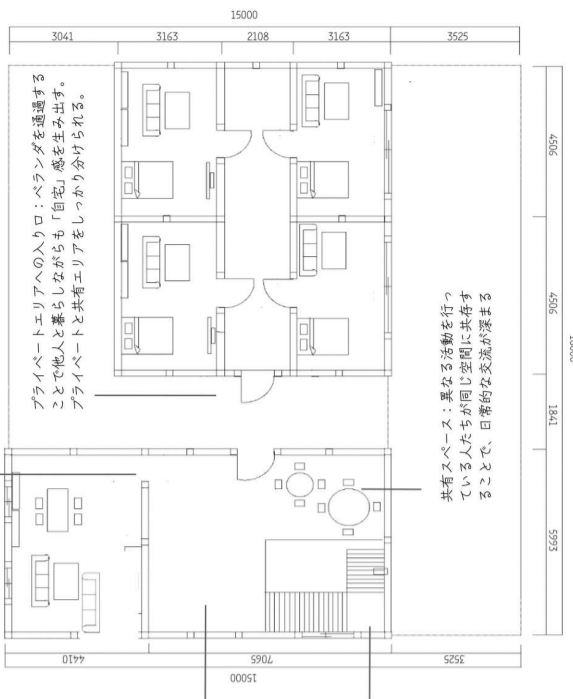
ガラス張りの窓から池の見える、開放感のあるリビング



広々としたキッチン&ダイニング。アイランドがあることで、複数人での作業がしやすい。

共有スペース：ドアを設置しないことで開放感があがりながら、プライバシーも確保されている

アクセスの高いトイレ、洗面所、お風呂



プライベートエリアへの入り口：ベランダを通過することで他人と暮らしながらも「自宅」感を生み出す。プライベートと共有エリアをしっかりと分けられる。

共有スペース：住人が自由にアレンジできる柔軟な空間。ここでは、本棚を置いたり、共通の趣味やを飾ったりと生活スタイルに合わせて使い方ができる。



2階の個室配置例

ロフト風になっているデザインは「違い棚」を連続しており2階にないながらも1階の様子が伺える。

共有スペース



各部屋への通路

(左) 1階配置図兼平面図 S=1/100
(右) 2階配置図兼平面図 S=1/100
敷地面積：15 x 16 (m) / 72.6坪